

おさらぎじろうきねんかん
この秋、大佛次郎記念館が花園に !?
 ~花と語らう—大佛次郎の花ごよみ~

愛猫家で知られる大佛次郎ですが、木や花にも同じように愛情を持っていました。今回「花と語らう—大佛次郎の花ごよみ」展では、「五感で味わう」をコンセプトに、そんな草花にまつわる作品の数々を、エッセイ、小説、俳句とジャンルを問わずにご紹介。

「私の家族の中に動物を算^{かぞ}えたのだから、植物も参加させてやってよい。」と語るほど、大佛次郎にとって大切な存在だった草花や樹木。

館内には、そんな草花との会話を楽しむかのようなエッセイをはじめ、桜の木の下に捨てられた少女を主人公とした小説「櫻子」など、珠玉の作品でいっぱいです。美しい挿絵や、写真はもちろんのこと、今回初登場の「大佛五郎」氏による朗読とともに、作品世界を五感で味わっていただきます。



エントランスでは5色のコスモスがお出迎え

◆ 五感で感じる花 関連イベントもりだくさん ◆

観る エントランスでコスモスがお出迎え。秋色のチョコモカ種は、ある深い香りで来館者を花園へと誘います。

触る 10/5(土) 15:00-16:00
 秋の花で作るモイストポップリワークショップ
 予約不要・参加費無料

聞く 展示会場に設置されたQRコードにアクセスして、「大佛五郎」氏のイケメンボイスをご堪能ください。

味わう ティールーム「霧笛」にて「花」にちなんだフレイバー・ドリンクが、メニューに新登場!

嗅ぐ モイストポップリで感じる春・夏の花
 10/5(土)~10/9(水)/1階会議室
 塩で抽出した花の香を楽しんでみて!

体験する 11/4(月・休) 9:00-12:00
 文学ウォーキング「花と語らう」
 秋の花園ツアー
 記念館と港の見える丘公園が、一緒に楽しめるツアー (要予約・500円)

会期	令和元年9月14日(土)~12月24日(火)	料 金	大人(高校生以上)200円(150円)、 中学生以下 無料 ()内は20人以上の団体料金 ※横浜市内在住の65歳以上の方は無料 ※毎月23日「市民の読書の日」と、第2・第4土曜日は高校生無料 ※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料
開館時間	9月 10:00~17:30 (入館は17:00まで) 10-12月 10:00~17:00 (入館は16:30まで)		
休館日	月曜日(祝休日の場合は翌平日)		

情報掲載をよろしくお願ひ申し上げます。広報用画像の提供が可能です。

お問い合わせ先	
大佛次郎記念館 【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】	
館長: 原田由布子 広報: 大房奈央子 展覧会担当: 安川篤子 TEL: 045-622-5002 mail: osaragi@yaf.or.jp	

花と語らう

—大佛次郎の花ごよみ

私は、この小さい庭を楽しむ。
猫で言えば、野良猫のような庭だが、
それでよいのである。

エッセイ「雑草の庭」より

2019
9/14(土)→12/24(火)

開館時間 10:00～17:30 (最終入館 17:00) * 10月以降は～17:00 (最終入館 16:30)

休館日 毎週月曜日 (祝休日の場合は翌平日)

観覧料 一般 200円(150円) / 中学生以下 無料

* ()内は 20名以上の団体割引料金 * 毎月23日(市民の読書の日)と第2、第4土曜日は高校生無料

* 横浜市内在住の65歳以上の方は無料(酒ともカード等をご提示ください)

* 障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料(手帳をご提示ください)

おさらぎ じろう
大佛次郎記念館 The Osaragi Jiro Memorial Museum
(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

〒231-0862 横浜市中区山手町113 / TEL 045 (622) 5002 / FAX 045 (622) 5071 / <http://osaragi.yafjp.org>

[協賛] 株式会社浦辺設計、株式会社ポンパドウル、横浜高速鉄道株式会社、大佛次郎研究会 [ワーキング協力] 横浜市環境創造局 (サカタのタネ グリーンサービス株式会社)

花と語らう

—大佛次郎の花ごよみ—

大佛次郎にとって、庭木や身近に咲く草花は「古くからの友人」「伴侶」に例えられる大切な存在でした。作品の中に咲く花は、美しさや可憐さの象徴であるばかりでなく、人間の心のありようを映す鏡として重要な役割を担っています。

草花のモチーフは多くの小説に登場するほか、生涯を通じた花との交流が、数々のエッセイに刻まれています。瑞々しい文体を味わいつつ、そこに込められた大佛次郎の思いを探ります。

1. 作品に咲く花

2. 折節の花たち—人生の伴侶

「桜の花の梢の下に出た。…先方も弁慶を見ている。十六夜の月を受けた花明りの中に、まぼろしかと見えた、黒目が明るく見えている。年のころ十二、三の若い娘である。弁慶が睨んでいるのに、なぜか、静かにゆつたりと、微笑んだ。…」

小説「櫻子」より



応仁の乱で荒廃した都を舞台に、出自を隠し、外の世界を見ずに育てられた純真無垢な娘「櫻子」と強直で弁慶の異名をとる足軽との物語。



佐多芳郎画 大佛次郎『櫻子』外函と見返し



辻永画『萬花圖鑑』より ザクロ



島田四郎画 大佛次郎随筆連載「ちいさい隅」挿絵準備スケッチ ガクアジサイ

「…一行も書けずに、もんもんとしていた。…大きな男が泣きたいような気持で、窓に行き、ガラス戸をあけて、朝の色になって行く外を見て、ぼんやりすわっていた。その時、ざくろの青い葉の間にある花の色が見えた。」

エッセイ「ざくろの窓」より

観て・聞いて・さわって・嗅いで・味わう 五感で感じる「花」

大佛文学の世界

展示会場に設置されたQRコードからアクセスし、作品の朗読をお聞きいただけます。

展示解説 担当者による展示案内

9/28(土)、10/12(土)、11/9(土)、12/14(土)
14:00~14:30(10月以降は第2土曜日)

ミニ・ミニトーク 大佛次郎記念館~建築の魅力発見

9/22(日)、10/20(日)、11/17(日)、12/22(日)
14:00~14:15

関連イベント

モイストポプリで感じる春・夏の花

10/5(土)、6(日)、8(火)、9(水) / 1階会議室ミニ展示(無料)
小瓶の中に閉じ込めた花の香りを楽しんでみよう!

秋の花で作るモイストポプリ ワークショップ

10/5(土) 15:00~16:00
参加費無料、事前の申込みは必要ありません。→持ち物など詳細はHPにて

大佛次郎記念館併設のティールーム「霧笛」にて「花」にちなんだドリンクメニュー登場!

大佛次郎記念館文学ウォーキング

花と語らう、秋の花園ツアー 11/4(月・振休) 9:00集合(大佛次郎記念館)
参加費500円(申込メ切10/6) / 定員20名
【大佛次郎記念館~港の見える丘公園(香りの庭)~フランス山~山下公園】約3時間の内容
→申込方法(web・往復はがきのみ)等詳細はHPにて



大佛次郎記念館

電車
みなとみらい線(東急東横線直通) / 6番出口からアメリカ山公園経由:エレベーター有り
元町・中華街駅 徒歩8分 (5番出口から谷戸坂またはフランス山経由)
JR根岸線 石川町駅 徒歩20分

バス
神奈川中央交通バス11系統(桜木町~保土ヶ谷駅東口)
市営バス20系統(山手駅~桜木町駅)
【あかいくつ】号(中華街・元町ルート)

港の見える丘公園前
下車 徒歩2分

次回テーマ展示予告

誕生!「鞍馬天狗」(仮) 2020年 1/4(土) ~ 4/19(日)